

「あおぎりっ子、2018年は、ワンダフルに!!」

教頭 保坂 泰司

本日、第2学期終業式を終えました。子どもたちには、今学期自分が意識して何を頑張ったのかを振り返りながら、通知票「きらめき」を見てもらいたいです。そして、結果を残すことができた項目については、大いに自信をもち、結果を残すことができなかった項目については、3学期の自分への課題として懸命に取り組むことを決意してほしいです。このようにして、子どもたちには自分に自信がもてることを樹木の年輪のように一つずつ増やしていき、大きく育ててほしいと考えます。

さて、今学期は、運動会から始まり、最後は校内音楽会と実にたくさんの行事がありました。各行事の中で、子ども一人ひとりが、その成功を目指して懸命に取り組む姿を多く目にすることができました。私は、目の前にあるやらなければならないことにしっかりと対峙し、最後までやり遂げることのできる子どもたちの「たくましさ」に感心させられました。さすが、大宮小学校の「あおぎりっ子」たちです。そこで、皆様にご質問です。「あおぎりっ子」には、昔から守るべき「5つのやくそく」というのがあるのはご存知でしょうか。それが、下にあるものです。すべてがいつの時代にも生きていく上で必要不可欠なものです。そこで、誠に勝手ながらどうしたら、その約束が守れたことになるのか私の考えを述べさせていただきます。

【あ】は、登下校を安全に見守ってくださる方々や、学校で先生や友達にしっかりあいさつができる子

【お】は、先生や友達の話をしっかり聞いた上で自分の考えをもち相手に伝えることができる子

【ぎ】は、学習や生活を送るのにふさわしい、整理整頓された環境づくりができる子

【りっ】は、自分に自信をもちながら、日々当たり前前のことは当たり前前を實踐できる子

【こ】は、常に感謝の心を忘れず、身の回りの物を大切に最後まで使い切る(えんぴつや消しゴム等)ことができる子。これが私の考える「5つのやくそく」を守るあおぎりっ子の姿です。

子どもたちには、「あおぎりっ子 5つのやくそく」を引き続き大切にするとともに、それらを土台にさらなる自分なりの「やくそく」を作り、常に心に秘めながらそれらを實踐し、成長して欲しいと願います。自分なりの「やくそく」について、冬季休業中の間、ご家庭でも話題にさせていただいたら幸いです。

最後に、今年本校の教育活動全般にご理解、ご協力をいただきましたことに深く御礼を申し上げます。来年も、職員が一丸となり子どもたちのよりよい成長のために懸命に取り組んで参ります。皆様、よいお年をお迎えください。

【あおぎりっ子 5つのやくそく】

- 【あ】・・・あかるいあいさつ元気な子
- 【お】・・・おはなし聞くには目と耳で
- 【ぎ】・・・きれいにしよう身のまわり
- 【りっ】・・・りっばなたいどと言葉づかい
- 【こ】・・・こわさずなくさず大切に